

2014年4月2日

---

## 「緑の環境デザイン賞」25周年記念「継続優良賞」の決定 および 第25回「緑の環境デザイン賞」・第34回「緑の都市賞」募集開始について

---

第一生命保険株式会社(社長 渡邊光一郎)は当社および公益財団法人都市緑化機構(会長 矢野龍)が主催する「緑の環境デザイン賞」が今年創設から25回目の節目を迎えることから、「緑の環境デザイン賞」25周年記念特別企画(以下「特別企画」)を実施します。

また、第25回「緑の環境デザイン賞」および当社が特別協賛する第34回「緑の都市賞」(主催:公益財団法人都市緑化機構)の募集を4月1日より開始しました。

### 1. 「緑の環境デザイン賞」25周年記念特別企画

#### (1) 「継続優良賞」の決定

特別企画は、これまでに助成した全受賞作品(139作品)の中から、本賞の助成により創出された緑が成長し、地域の方々に親しまれるなど一層価値を高めた作品を顕彰するものです。このたび、**25作品が「継続優良賞」として選定**されました(別紙参照)。

#### (2) 「第一生命賞」等の選考

「継続優良賞」25作品の中から、特に優れた作品を以下の2つの方法により顕彰します。

①緑の環境デザイン賞審査委員による審査により国土交通大臣賞他2賞を選定

②当社オフィシャルホームページ上でのお客様の投票により第一生命賞3点を選定

(詳細は後日お知らせします。)

※上記①、②受賞団体には、活動助成金を贈呈する予定です。

※②の投票総数に応じて、公益財団法人オイスカの「東日本大震災復興 海岸林再生プロジェクト」へ寄付をする予定です。

## 2. 第25回「緑の環境デザイン賞」および第34回「緑の都市賞」募集開始

「緑の環境デザイン賞」は、地域の美しい景観形成や人と自然が共生する都市環境の形成に寄与する緑化プランを公募のうえ、優秀作品の表彰および助成を行う顕彰制度です。

「緑の都市賞」は、緑の保全・創出活動に卓越した成果を上げている市民活動団体、企業等の民間団体、公共団体を顕彰し、これにより広く都市の緑化推進、緑の保全による快適で地球にやさしい生活環境を創出することを目的として1981年に創設された、内閣総理大臣賞を有する顕彰制度です。

当社は、「緑の”計画”を助成・支援する「緑の環境デザイン賞」、緑の”実績”を顕彰・支援する「緑の都市賞」という2つの賞を一体的に運営することで、「都市の緑」に関わる環境保全活動を総合的に支援します。

### <募集概要>

	緑の環境デザイン賞	緑の都市賞
主催	第一生命保険株式会社 公益財団法人都市緑化機構	公益財団法人都市緑化機構
特別協賛	-	第一生命保険株式会社
後援	国土交通省/環境省/全国知事会/全国市長会/全国町村会	国土交通省/総務省/環境省/全国知事会/全国市長会/全国町村会
表彰	国土交通大臣賞(副賞<緑化助成金>) 緑化大賞(副賞<緑化助成金>) ※助成金は800万円以内	内閣総理大臣賞(副賞20万円<活動助成金>) 国土交通大臣賞(副賞15万円<活動助成金>) 都市緑化機構会長賞(副賞10万円<活動助成金>) 奨励賞(副賞5万円<活動助成金>) ※副賞は「緑の市民協働部門」のみ
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集期間: 2014年4月1日(火)~2014年7月31日(木)</li> <li>・受賞発表: 2014年10月中旬</li> <li>・表彰式 : 2014年11月上旬</li> </ul>	

当社は、DSR(Dai-ichi's Social Responsibility: 第一生命の社会的責任)経営の一環として、「健康の増進」「豊かな次世代社会の創造」「環境の保全」を社会貢献活動の中心取組テーマに掲げ社会課題の解決に取り組んでいます。両賞への参画を通じて、生物多様性保全やヒートアイランド現象緩和等の「環境の保全」、緑によるやすらぎの提供やレクリエーションの促進等の「健康の増進」、環境教育や情操教育等の「次世代社会の創造」等、引き続き社会課題の解決に寄与していきます。

**緑の環境デザイン賞 25周年記念特別企画について**

**(1) 緑の環境デザイン賞審査委員による『継続優良表彰』(主催:第一生命、都市緑化機構)**

**目的**

四半世紀にわたる本賞の経緯を振り返り、受賞作品の緑地が地域社会や環境にもたらしている効果を評価するとともに、長年にわたり良好な緑地管理に尽力された関係者の方々を顕彰することを目的とします。

**審査対象**

過去の本賞を受賞し整備された緑地のうち、「緑地の現況に関するアンケート調査」(実施期間:12月10日から1月10日、対象:2013年度までに助成した139団体)で回答があり、継続的な管理が確認されたものとしてします。

**審査方法**

主催者等で構成された審査会により、継続的で優良な管理が認められた25団体を選定し、さらに有識者により構成される本審査会において、選定団体の中から最も優れた3団体を選定します。本審査会の委員長及び委員は、第25回緑の環境デザイン賞審査会と同様とします。

**審査ポイント**

審査のポイントとなる項目は以下のとおりです。

- ①環境貢献度
  - 【都市環境の改善】  
地球温暖化に伴うヒートアイランド現象の緩和や風の道の形成等に寄与しているか。
  - 【生き物を育む】  
生態系を保全するための調査・管理、環境教育の場としての活用等を行っているか。                    など
- ②社会貢献度
  - 【四季折々にまちを彩る・潤す】  
花壇やシンボルツリーなど、四季を通じて花や緑でまちに彩りを与える緑化としてきめ細やかな管理が行われているか。
  - 【皆で憩う・楽しむ】  
イベントやボランティア活動など、人々の交流の場としての活用がなされているか。
  - 【まちの顔をつくる】  
駅前広場、プロムナード、まちの玄関口など、まちの顔として美しい景観を形成するための取り組みを行っているか。
  - 【歴史や文化を伝える】  
観光や教育活動など、まちの歴史や文化を伝える場として活用されているか。                    など
- ③持続可能性
  - 活動の発展性があるか。

**表彰**

・国土交通大臣賞	1点	表彰状、活動助成金(20万円)
・都市緑化機構会長賞	1点	表彰状、活動助成金(15万円)
・審査委員特別賞	1点	表彰状、活動助成金(10万円)
・継続優良賞	25点	表彰状

**日程**

・審査・発表	2014年10月中旬
・表彰期日	2014年11月上旬

**(2) お客さま投票による WEB コンテスト『THE BEST OF 緑の環境デザイン SHOW』(主催:第一生命)**

5月上旬より、第一生命オフィシャルホームページ上で「継続優良賞」25団体を対象としたWEBコンテストを実施します。詳細は後日お知らせする予定です。

**「緑の環境デザイン賞」25周年記念「継続優良賞」受賞作品**

2013年12月10日から2014年1月10日にかけて、2013年度までに助成を行った139団体に対して「緑地の現況に関わるアンケート調査」を実施し、その結果、地域の皆さまに親しまれ、環境に貢献している緑地として次の作品の受賞が決定しました。

◎継続優良賞(25点、表彰状)

受賞作品名	受賞団体名	場所	緑の環境 デザイン賞 受賞年
定山源泉公園(定山溪温泉豊平川隣接広場)	一般社団法人 定山溪観光協会	北海道札幌市	2004
北国の空に溶け込むフォリッジ・コミュニティガーデン	南羊ヶ丘町内会	北海道札幌市	2007
新川東緑地	福島県いわき市	福島県いわき市	1994
松見公園 いやしの庭	NPO 法人 つくばアーバンガーデニング	茨城県つくば市	2000
医療法人光潤会 介護老人保健施設 ルーエしもつま	医療法人光潤会 介護老人保健施設ルーエしもつま	茨城県下妻市	2003
港区立芝公園	港区民交流ガーデンクラブ	東京都港区	2003
小野学園自然観察園	学校法人 小野学園女子中学・高等学校	東京都品川区	2011
南平用水路敷き及びみなみだいら児童館	南平・緑と水のネットワーク	東京都日野市	2012
スルガ銀行前庭及びとうきゅうストア駐車場	NPO法人 かまくら緑の会	神奈川県鎌倉市	2003
みんなのもったいないガーデン(東京農業大学厚木キャンパス)	東京農業大学農学部バイオセラピー学科植物介在療法学研究室	神奈川県厚木市	2010
大手門公園小諸市民ガーデン	NPO法人 こもろの杜	長野県小諸市	2008
吉田町立図書館	静岡県吉田町	静岡県榛原郡	2004
JR高月駅東口ロータリー	滋賀県長浜市	滋賀県長浜市	2007
京都テルサ(京都府民総合交流プラザ)	財団法人 京都府民総合交流事業団	京都府京都市	2010
町家再生複合ショップ「萌(ホウ)」「練(レン)」「惣(ソウ)」	からほり倶楽部	大阪府大阪市	2005
JR三宮駅南側広場	公益財団法人 神戸市公園緑化協会	兵庫県神戸市	2000
社会福祉法人仁寿福祉会 特別養護老人ホーム星陽	社会福祉法人 仁寿福祉会 特別養護老人ホーム星陽	兵庫県姫路市	2007
花のまちづくりセンター ふうらむ	奈良県生駒市	奈良県生駒市	2000
呉市二河公園	ひろしま自然の会	広島県呉市	2010
清水と紫陽花きらめく「神原せせらぎの里」	宮原地区まちづくり推進委員会	広島県呉市	2012

京陵中学校前緑地	熊本県熊本市	熊本県熊本市	1994
南九州大学都城キャンパス ヒーリングガーデン	学校法人 南九州学園	宮崎県都城市	2008
学校法人押野学園川内幼稚園	学校法人 押野学園川内幼稚園	鹿児島県薩摩川内市	2006
仲西中学校正門前広場	沖縄県浦添市	沖縄県浦添市	1990
新都心公園水の道(学びの森)	あけもどろ緑の会	沖縄県那覇市	2006

## 第25回「緑の環境デザイン賞」応募概要

■主催 公益財団法人都市緑化機構・第一生命保険株式会社

■後援 国土交通省・環境省・全国知事会・全国市長会・全国町村会

■応募対象 ①場所: 公有地、民有地を問わず、小規模であっても公開性があり、都市計画区域内にあること。  
②応募者: 公益法人・特定非営利活動を行う団体・学校・商店組合・町内会・事業所等の法人・区画整理や再開発を行う団体及び同等以上の団体等

■応募方法 所定の応募用紙に緑化プラン平面図等を添えて「緑の環境デザイン賞事務局」へご郵送ください。

「緑の環境デザイン賞」事務局

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 3-2-4 田村ビル 2階 公益財団法人都市緑化機構内

Tel 03-5216-7191 Fax 03-5216-7195

募集要綱・応募用紙は下記ホームページよりダウンロード下さい。

URL <http://www.urbangreen.or.jp>

■審査 応募対象や応募条件と共に、総合的な評価により行われます。

・審査委員長 東京農業大学 名誉教授 進 士 五十八

・審査委員 千葉大学大学院 教授 赤 坂 信  
国土交通省 都市局長 石 井 喜三郎  
京南倉庫株式会社 代表取締役社長・詩人 上 村 多恵子  
東京農業大学 教授 鈴 木 誠  
株式会社産経新聞社 専務取締役 外 山 衆 司  
音楽家・エッセイスト 森 ミドリ  
第一生命保険株式会社 代表取締役社長 渡 邊 光一郎  
第一生命保険株式会社 執行役員 武 富 正 夫  
公益財団法人都市緑化機構 専務理事 宮 下 和 正

(2014年4月1日現在)

■表彰 国土交通大臣賞 2点以内 表彰状(国土交通大臣名)・副賞(緑化助成)  
緑化大賞 数点 表彰状(主催者名)・副賞(緑化助成)  
※緑化助成は800万円以内(工事に係る消費税含む)

■日程 ・募集開始 2014年4月1日(火)  
・締切日 2014年7月31日(木) 当日消印有効  
・審査・発表 2014年10月中旬  
・表彰期日 2014年11月上旬

## 第25回「緑の環境デザイン賞」応募条件(抜粋)

### 1. 募集内容

- (1) 緑化プラン 地域の美しい景観を形成すると同時に、ヒートアイランド緩和や生物多様性保全などの緑の持つ環境保全機能によって人と自然が共生する都市環境の形成に寄与するもの。  
※学校等の緑化プランについては、教育の面で役立つものも対象とする。
- (2) 場 所 公有地、私有地を問わず、小規模であっても公開性があり、都市計画区域内にあること。  
※学校等の応募については子供たちの安全を考慮し公開性が低いものであっても対象とする。
- (3) 植 栽 等 緑化助成による植栽等は、形状として一団、もしくは列状であること。
- (4) 土地の所有 応募者と土地の所有者または管理者が異なる場合は、土地所有者または管理者から緑化プランの実現に関して同意が得られる見通しがあること。
- (5) 応 募 者 公益法人、特定非営利活動を行う団体、学校、商店組合、町内会、事業所等の法人や任意団体、地方公共団体、事業団、公社、区画整理や再開発を行う組合等の団体及びこれらと同等以上の団体であること。

### 2. 応募条件

- (1) プランを実現することが可能な土地の手当の見込みがあること。
- (2) 緑化プランは、原則として2014年度内に工事完了が可能であること。但し、やむを得ない理由により工事完了が見込めない場合には、若干の延長を認めます。
- (3) 緑化の助成対象となる工事については、応募の時点及び審査の期間中に工事の発注または着工が行われていないこと。
- (4) 応募される緑化プランの中で、自己資金、他からの助成金等の本助成以外の費用が入って工事が行われる場合には、本助成と本助成以外で行う工事(対象物件)を明確に区分すること。
- (5) 緑化助成された植栽等は、引渡し後、責任ある維持管理が行え、その帰属が明確であり、持続性・持続性を有していること。(なお、受賞決定後、応募者と土地所有者または管理者が異なる場合には、応募者等による管理を行うための管理に関する協定の写しの提出をお願いすることになります。)
- (6) 主催者が定める「緑の環境デザイン賞」の受賞を示す統一規格のプレートを応募場所に設置することが可能なこと。(応募者と土地所有者または管理者が異なる場合には、その了解を得て下さい。)
- (7) 受賞者は、受賞1年目に現況の写真を(公財)都市緑化機構に提出するとともに、簡単な管理状況等の報告を行うものとする。また2年目以降については、3年毎に(公財)都市緑化機構からの要請に応じて写真の提出及び管理状況等の報告を行う。

### 3. 緑化助成

- (1) 助成方法 緑化助成工事は主催者(公益財団法人都市緑化機構)が行い受賞者に引き渡す方法と、受賞者が行う方法のいずれかによる。
- (2) 助成範囲 土地の造成等は含めず、樹木等の植栽を主体とする。
- (3) 管 理 引き渡し後の樹木等の日常的管理は基本的に受賞者等が行う。

### 4. 応募及び問合せ先

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-2-4 田村ビル 2 階  
公益財団法人都市緑化機構内 「緑の環境デザイン賞」事務局  
Tel: 03-5216-7191 Fax: 03-5216-7195 E-mail: midori.info@urbangreen.or.jp

## 第34回「緑の都市賞」応募概要

- 主 催 公益財団法人都市緑化機構
- 特別協賛 第一生命保険株式会社
- 募集部門 『緑の市民協働部門』『緑の事業活動部門』『緑のまちづくり部門』の3部門
- 応募方法 所定の応募用紙に必要事項をご記入の上、緑化や緑の保全の成果が確認できる写真(15~20枚以内)及び、その他の必要な資料を添えて、「緑の都市賞」事務局へご郵送下さい。

「緑の都市賞」事務局

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 3-2-4 田村ビル 2階 公益財団法人都市緑化機構内

Tel 03-5216-7191 Fax 03-5216-7195

応募用紙は下記ホームページよりダウンロード下さい。

URL: <http://www.urbangreen.or.jp>

- 審 査 「予備審査」と「本審査」の2段階によって行われます。

・委員長	印刷博物館 館長	樺 山 紘 一
・委 員	国土交通省 都市局長	石 井 喜三郎
	中央大学 理工学部人間総合理工学科 教授	石 川 幹 子
	一般社団法人日本経済団体連合会 社会広報本部長	井 上 洋
	東京工業大学 名誉教授	仙 田 満
	千葉大学 名誉教授 千葉大学グランドフェロー	田 代 順 孝
	日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科 准教授	山 崎 誠 子
	東京都市大学 環境情報学部環境情報学科 教授	涌 井 史 郎
	第一生命保険株式会社 代表取締役社長	渡 邊 光一郎
	公益財団法人都市緑化機構 専務理事	宮 下 和 正

(2014年4月1日現在)

■表 彰	内閣総理大臣賞	1 点	賞状及び副賞20万円(活動助成金)
	国土交通大臣賞	3点以内	賞状及び副賞15万円(活動助成金)
	都市緑化機構会長賞	3点以内	賞状及び副賞10万円(活動助成金)
	奨励賞	若 干	賞状及び副賞 5万円(活動助成金)

※副賞の活動助成金は「緑の市民協働部門」の受賞団体のみ対象

■日 程	・募集開始	2014年4月1日(火)
	・締 切 日	推薦締切 2014年5月31日(土)当日消印有効 応募締切 2014年7月31日(木)当日消印有効
	・入 選 発 表	2014年10月中旬
	・表 彰 期 日	2014年11月上旬